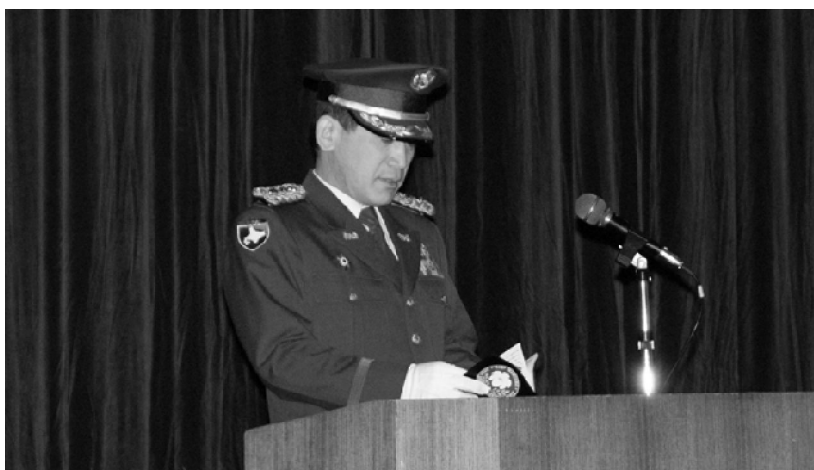


いわみざわ



発行所 隊友会岩見沢支部
編集 陸上自衛隊
岩見沢駐屯地
印刷所 福祉村
岩見沢市栗沢町
最上350
TEL (0126) 45-2721

自衛官候補生課程始まる！！



司令式辞



来賓祝辞（岩見沢市長）



祝辞挨拶（三笠市長）

立派な自衛官をめざして 入隊式を挙行

四月六日、駐屯地体育館において、平成二十五年度自衛官候補生の入隊式が行われた。隊員は、十八歳から二十三歳までの四十名。

入隊式の中で野路駐屯地司令は、「入隊おめでとう。諸官が自衛官の道を志してくれたことに對し心から感謝申し上げる。」と述べられた。また、これから始まる教育にあたり、仲間同士で励まし助け合い、またある時は競い合い、さらに上を目指し「拘りをもって」教育に取り組むことと、これからの教育でどのような状況にあっても元氣をもって「前向きに明るく」物事に取り組み、苦しい時こそ大きな声を張り上げ、元氣を見せてくれることの二点を要望した。

また、来賓として自衛隊協力会岩見沢隊区連合会長岩見沢市長松野哲氏、三笠市長小林和男氏、札幌地方協力本部長藤本一佐より祝辞をいだくと共に、協力会、父兄会、学校関係者の方々が参列された。これから六月二十八日までの間、自衛官としての知識・技能を養うべく厳しい訓練が始まる。

平成24年度群冬季戦技競技会を実施！！

第337施設中隊が総合優勝



1 部隊表彰

区 分	表彰区分
中隊対抗	優勝 第337施設中隊
	準優勝 第336施設中隊

2 個人表彰

幹部の部				
順位	中 隊	階級	氏 名	タイム
1位	第312施設器材中隊	2尉	青木 広幸	0:18:59
陸曹の部				
順位	中 隊	階級	氏 名	タイム
1位	第336施設中隊	2曹	島村 猛司	0:18:16
2位	第302坑道中隊	曹長	奥田 浩一	0:18:20
3位	第335施設中隊	2曹	武田 和也	0:18:58
4位	第335施設中隊	1曹	松村 卓	0:19:14
5位	第335施設中隊	3曹	三村 淳	0:19:17
6位	第335施設中隊	曹長	田岡 師範	0:19:39
7位	第337施設中隊	3曹	木村 圭司	0:19:39
8位	第336施設中隊	3曹	阿部 将人	0:19:41
陸士の部				
順位	中 隊	階級	氏 名	タイム
1位	第302坑道中隊	士長	鎌田 啓太	0:18:57
2位	第336施設中隊	士長	門間 康至	0:19:40
3位	第335施設中隊	士長	嶋田 賢	0:21:04
4位	第336施設中隊	士長	岡田 昌也	0:21:04
5位	第342施設中隊	士長	藤波 匡紀	0:21:40



第十二施設群は、一月三十一日、平成二十四年度冬季戦技競技会を実施した。
 競技会は、抽選による選手と中隊長指定選手により6kmのコースで各中隊平均タイムで競われ午前九時に第一組目のスタートを皮切りに、各中隊の選手は日頃の練成の成果を遺憾なく発揮、最後まで全力で滑りきった。
 結果は次のとおりです。

2名の幹部候補生が元気に着隊



勝間曹長（左から3番目）



永井曹長（写真左）



群長への申告

第十二施設群は三月十一日、幹部候補生の着隊行事を実施した。今回着隊したのは、第二十六普通科連隊と第四普通科連隊で普通科隊付教育を修了し、三月九日付で第三三五施設中隊に配属された勝間大幹候と第三三七施設中隊に配属された永井諒幹候で、二名は各中隊が計画する過酷な訓練に参加したのち、群長に対し力強く申告を行った。群長からは「君たちが来るのを心待ちにしていた。これからの教育等の後立派な小隊長になってくれ。」と激励された。

海外派遣活動に参加して



第三三五施設中隊
三等陸曹

長谷 竜二

私は、今回初めての海外派遣活動を経験し様々な事を感じる事が出来ました。

まず、海外派遣参加にあたっては、沢山の方々の支援を受け、そのお陰をもつて、任務を遂行する事ができました。毎月、追送品が来るのはとても楽しみでしたし、家族や友人との連絡手段があるのは自分にとって大変心の支えになりました。家族支援に携わって戴いた方々、家族や同僚、部隊の支えがあったからこそ八ヶ月間の長い海外任務を完遂できたのだと思います。海外の地では、気候の違い、交通規制の違い等様々な異なる事がありました。水や食料に恵まれない子供達も少なくなく、自分達が近くで作業していると「ウォーターウォーター」と絶えて来る子供達が多かった事を思い出します。私にとつて、恵まれた環境で何不自由なく生活できるありがたさを改めて感じる事が出来た機会でもあり、とても良い経験をさせて頂きました。

今後は、環境に不平不満を言わず、海外派遣で得た経験を、少しでも活かせるように、今後も訓練、戦技に励んでいきたいと思っています。

隊員紹介



第三四二施設中隊
陸士長

堤 貴啓

今回は、平成二十四年九月から我が中隊に配置され、早くも頭角を現してきた期待の新人である陸士長堤貴啓君を紹介いたします。

まず、堤士長を語る上で欠かせないのが戦技に対する姿勢です。昨年は北施設隊の持続走競技会に向けて群の練成隊に参加し、中隊の諸先輩達が一人心を込めて中隊代表として競技会を走り抜きました。次に、スキーでは新補職者で練成不足でありながら群のスキー競技会・滑走の部で多くの諸先輩隊員を抜き、新補職者の部で準優勝という成績を修めました。何というポテンシャル！と思う人がいるかもしれませんが自分は違うと思います。確かに先天的な要因もあるでしょう。しかしながら堤一士は「勝ったから楽しい・負けたら悔しい」という勝負の根本を誰よりも理解し、負けない努力をしているのだと思います。

元気がいい堤士長。何事にも積極的な堤士長。話下手な堤士長。周りにいる人を明るくし、色々な面がありますが、早く陸曹になることを期待しています。

頑張り 堤 貴啓（紹介者 大橋健二 三曹）



南スーダンでの活動の様子
（左から2番目）



スキー競技会での滑り



群長への申告

SNACK

北の国から

飲み放題3000円(5名様から)

岩見沢市3条西2丁目ツタヤビル4F店 主 平 井

☎ 0126-(22)-8873

株式会社

TKK トッキュウ Tokkyu

物流・・・

それは“まごころ”のネットワーク

本社 〒068-0115 岩見沢市栗沢町最上498-9

TEL 0126-45-2792 FAX 0126-45-3053

http://www.tokkyu-group.jp

(札幌/札幌北/苫小牧/東北/関東/中部)

ドカ雪祭支援に参加して



第三三六施設中隊

陸士長

石川 昇



雪像制作中の石川士長（写真右）



完成したメインステージ

今回私は、I W A M I Z A W A ドカ雪まつりの雪像製作支援に始めから最後まで参加しました。無造作に積み上げられた雪山が日に日に雪像へと変化していく過程を味わうことができた。私自身、作業を行うことができませんでした。私の主な作業内容は雪をシャーベット状にすることで、その日の気温や雪質で雪が固まってしまうので簡単に外れて意外と大変な作業でした。そのシャーベットを先輩隊員が丁寧かつ素早く作業を行っているのを見られたのがとても勉強になりました。また、作業も後半に入ると市民雪像作りの方々が会場に來られるようになりその方達と会話を交わしながら作業するなど、とても楽しく作業ができました。

東日本大震災が起きた日に准看護学院から第十二施設群に配属になり、翌日に本部管理中隊の一員として災害派遣に参加した日から二年が経ちました。災害派遣では日頃の訓練及び准看護学院で学んだ知識、技術がいかに大切なことだと実感しました。今までの訓練では、与えられていた任務をこなす模擬の患者に対しての対応をしていくだけということが多かったです。しかし、東日本大震災では、実任務の中で患者が発生し目の前で苦難する隊員の姿を目の当たりにし、いつも通りの処置が行えず焦ってしまひ先輩隊員の手を借りる事がありました。患者の対応は普段の訓練ではできても実任務では持っている実力の半分以下の技術しか出せないもどかしさ、また焦りを体験しました。この経験が訓練に対する考え方を変えました。災害派遣から帰ってきた後は実任務の中で実力を十分に発揮するのは普段の訓練だと思ひ、常に実患者を意識してその後の訓練、業務に当たっています。

本年も隊持続走競技会を皮切りに様々な訓練があります。これからも実任務を意識して訓練に臨み、何事にも元気に前向きに明るく中隊を盛り上げていけるように頑張っていきたいと思っています。



昨年の群検閲の様子（写真右）

配属から二年が経過して

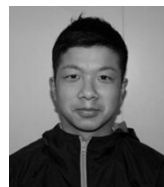


本部管理中隊

三等陸曹

兒玉 昇士

教育を終えて変わったこと



第三〇二坑道中隊

一等陸士

田中 拓美

自分は平成二十四年四月に第二師団のある旭川駐屯地の第二特科連隊に自衛官候補生として入隊しました。その後、後期教育は第十三施設隊の幌別駐屯地で行われ、平成二十四年九月地元である岩見沢駐屯地の第三〇二坑道中隊に配属されました。

自衛隊になることは幼稚園から憧れていたため、戦車や戦闘機などにとっても憧れて入隊しました。入隊当初、生活の違いや時間の活用で指導されることが多く戸惑うこともありましたが教官の指導のもと同期と共に体力面や考え方を少しずつ成長させることができ教育を終えることができました。

中隊に配属された今も、教育で培った知識や技術、そして同期との絆が今の自分の助けになっています。ここまで頑張れて成長できたのも同期や先輩、助教、育ててくれた家族のおかげだと思っています。辛い事や苦しい事、納得いかない事など色々ありましたが、そんな辛い事楽しかった事全て含めて自衛隊に入隊して良かったと思っています。

これから、この地元岩見沢で恩返しのできる気持ちで、一日一日を頑張っていきたいと思っています。



隊持続走競技会のリレーの部で選手として出場



群スキー競技会（滑降）で新補職者の部で第1位

Gibraltar ジブラルタ生命

私たちはブルデンシャル・グループの一員です。
ブルデンシャルは、130余年の歴史を持つ米国最大級の金融機関であり
世界の顧客に幅広い金融商品・サービスを提供しております。
ジブラルタ生命保険株式会社
岩見沢支部
〒068-0024 岩見沢市4条西4丁目 グレイズ寺江ビル4F
TEL(0126)22-4875 FAX(0126)22-5734

いわみざわ

ひと、いえ、くるま。JA共済には、
暮らしの保障のすべてが揃っています

JA共済は、相互扶助「助け合い」を理念とした協同組合保険。

営利を目的としないので、納得のいく掛金で
大きな保障が得られます。

岩見沢市2条西1丁目1番地
TEL 0126-25-2211



バラ園で
結婚式を挙げませんか!!

お二人の想い平安閣が叶えます。

IWAMIZAWA

HEIANKAKU

岩見沢市5条東3丁目 TEL (0126)28-4581

☐ i-heiankaku@herb.ocn.ne.jp

「警務隊だより春の交通安全について」

●子供と高齢者の事故防止

交通事故者死者数全体のうち、高齢者が約半数を占めています。
ドライバーのみなさんは、おもいやりのある安全運転を心がけましょう。



●自転車の安全利用の推進

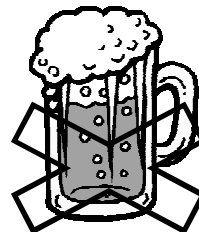
自転車も「クルマ」です
自転車に乗るときは「自転車安全利用5則」を守り

- 1 自転車は、車道が原則、歩道は例外
- 2 車道は左側を通行
- 3 歩道は歩行者優先で、車道よりを徐行
- 4 安全ルールを守る
- 5 子供はヘルメットを着用



●全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底

自動車に乗るときは、全ての座席で必ず、シートベルトを着用しましょう。
シートベルトの適応身長は135～140cm以上です。大切な子どもの命を守るため、年齢ではなく体型で判断しましょう。



●飲酒運転の根絶

飲んだ量が少なくても、アルコールは確実に脳に影響しています。
「少しだから平気」、「近所だから大丈夫」という考えはありえません。

衛生だより（医務室から）

◎生活習慣病を予防しよう

がん、脳卒中、心臓病等の生活習慣病による死亡率は全体の約60%を占めています。これらの疾患は長年の生活習慣を反映しているといわれています。日本人の健康意識は高いのですが（約六十五%）、その中でも具体的な行動を実行している人（約十六%）は少ないのが現状です。健康に過ごすためにも毎日の生活習慣を見直し、出来る範囲で積極的に行動に移しましょう。

健康を作る生活習慣病予防のポイント

- 一 食事は三食バランスよく
食べ過ぎに気を付けて肥満を予防
- 二 脂肪は動物性より植物性を摂る
塩分は一日十グラム以下にする
- 三 運動不足を解消しよう
生活の中に運動を取り入れる
出来るだけ継続できる運動を
無理せずマイペースで
- 四 上手に給養をとろう
十分な睡眠を取る
趣味を持ってリフレッシュ
自然とふれ合おう
自分だけの時間を大切に
アルコールはほどほどに
週に二回は休肝日を作る
適量で足りあげる
食べながら飲む
自分のペースで楽しく飲む
- 五 禁煙
禁煙は、ガンや呼吸・循環器病以外にさまざまな疾病の要因となります。また、周囲の人の健康の為に禁煙をしましょう。（夫の喫煙で、タバコを吸わない妻が肺ガンになるリスクは約二倍に・・・）

年に一度の検診の結果をしっかりと認識して、より豊かな健康人生の実現のためにも、規則正しい生活習慣を心掛けましょう。



P u b
あ お き

岩見沢市2条西2丁目
TEL 0126-24-8085

自衛隊退職者雇用協議会

岩見沢支部

事務局：岩見沢商工会議所内
支部長：五十嵐 閣
TEL：0126-22-3445

EVENT HALL

駅東市民広場

イベントホール赤れんが

多彩な催しにご利用いただける施設です。
お気軽にお電話ください。TEL 0126-22-5871

岩見沢市有明町南1番地7
株式会社 振興いわみざわ
代表取締役 北市 宗三

隊 友 会 だ よ り



全員で記念撮影



カラオケにも熱が入る



白根支部長挨拶

岩見沢支部は、三月九日（土）北村温泉ホテルにおいて、毎年の恒例行事である隊友の集いを白根支部長以下隊友会員十五名の参加をもって開催しました。例年に比べ少ない参加者でしたが、全員意気投合して盛り上がり、活気のある集いとなりました。

昼間は、長時間にわたり温泉にたつぷりと浸かり普段の疲れを洗い流すとともに、一部はビールを飲み交わしながら麻雀・囲碁に夢中となりました。

夜の部では懇親会となり、現役時代の思い出と近況の吐露、そしてビンゴゲームに続き各人のカラオケ披露となり、少し外れたハーモニもありましたが熱唱のうちに時間は経ちました。最後に、毎年江別より参加されている大竹氏の乾杯の音頭により二十五年度も互いの健勝を誓い合い閉会しました。

警 務 隊 だ よ り

●子供と高齢者の事故防止
交通事故死者数全体のうち、高齢者が約半数を占めています。ドライバーのみなさんは、おもいやりのある安全運転を心がけましょう。

●自転車の安全利用の推進
自転車も「クルマ」です
自転車に乗るときは「自転車安全利用5則」を守りましょう。

- 1 自転車は、車道が原則、歩道は例外
- 2 車道は左側を通行
- 3 歩道は歩行者優先で、車道よりを徐行
- 4 安全ルールを守る
- 5 子供はヘルメットを着用

●全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
自動車に乗るときは、全ての座席で必ず、シートベルトを着用しましょう。シートベルトの適応身長は135～140cm以上です。大切な子どもの命を守るため、年齢ではなく体型で判断しましょう。

●飲酒運転の根絶
飲んだ量が少なくても、アルコールは確実に脳に影響しています。「少しだから平気」、「近所だから大丈夫」という考えはありません。



衛生だより（医務室から）

◎生活習慣病を予防しよう

がん、脳卒中、心臓病等の生活習慣病による死亡率は全体の約六十％を占めています。これらの疾患は長年の生活習慣を反映しているといわれています。日本人の健康意識は高いのですが（約六十五％）、その中でも具体的な行動を実行している人（約十六％）は少ないのが現状です。健康に過ごすためにも毎日の生活習慣を見直し、出来る範囲で積極的に行動に移しましょう。

健康を作る生活習慣病予防のポイント

- 一 食事は三食バランスよく
食べ過ぎに気を付けて肥満を予防
- 二 脂肪は動物性より植物性を摂る
塩分は一日十グラム以下にする
- 三 運動不足を解消しよう
生活の中に運動を取り入れる
出来るだけ継続できる運動を
無理せずマイペースで
- 四 上手に給養をとろう
十分な睡眠を取る
趣味を持ってリフレッシュ
自然とふれ合おう
自分だけの時間を大切に
- 五 アルコールはほどほどに
週に二回は休肝日を作る
適量できりあげる
食べながら飲もう
自分のペースで楽しく飲もう



●禁煙
禁煙は、ガンや呼吸・循環器病以外にさまざまな疾病の要因となります。また、周囲の人の健康の為に禁煙をしましょう。（夫の喫煙で、タバコを吸わない妻が肺ガンになるリスクは約二倍に・・・）

年一度の検診の結果をしっかりと認識して、より豊かな健康人生の実現のためにも、規則正しい生活習慣を心掛けましょう。

自衛隊退職者雇用協議会

岩 見 沢 支 部

事務局：岩見沢商工会議所内

支部長：五十嵐 閣

TEL：0126-22-3445

P u b
あ お き

岩見沢市2条西2丁目

TEL 0126-24-8085

EVENT HALL
駅東市民広場
イベントホール赤れんが

多彩な催しにご利用いただける施設です。
お気軽にお電話ください ☎0126-22-5871

岩見沢市有明町南1番地7
株式会社 振興いわみざわ

代表取締役 北市 宗三

